

平成 29 年度国際理解ワークショップ進行シート

作成日：2017 年 8 月 10 日

大 学 名：新潟県立大学

タイトル：世界の学校十人十色～未来へつながる私たちの学び～

1：本ワークショップの要旨

本ワークショップは、子ども達が何のために勉強し、それをどのように生かしていくかを考える経験の機会とする。そのために、いくつかの国を取り上げ、比較しながら違いを知る。例えばフィリピンを取り上げ、一部の貧困者はその現状から脱出するために教育を受けているという事実を提示し、教育が将来の私たちの生活に繋がっている事を理解する。また、その国にとっての教育のあり方や、教育を今後どのように捉えていくか、教育に対する理解を深める活動を行う。そして、私たちが今受けている教育は未来にどのような繋がりを持つのかを共に考える

2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

- ・世界の様々な教育のあり方について理解を深める
- ・今受けている教育がどのような意味を持つかを考える
- ・今受けている教育が未来にどのような繋がりを持つかを考える
- ・自分の意見を持つことを大切にし、他者の意見を尊重する姿勢を育む

3：本トピックをとりあげる理由

世界には様々な教育の在り方があり、教育に何を求めるかは国によって異なる。また同じ教育制度であったとしても、教育の捉え方は人によって異なる。本トピックを取り上げることによって、今受けている教育が決して当たり前のものではないということを知り、教育が自分にどのような意味を持つのかや、未来への繋がりについて考える機会を作るため。

4 : 活動過程

(使用時間 : 115 分(休憩・感想記入の時間を含む) 参加人数 : 25 人)

| 過程 (所要時間) | 活動内容 | 具体的な発問・説明・動きなど | ねらい | 使用する教材・備品 | 予想される反応、その他、注意事項 |
|------------------|---------------------|---|---|---------------------------|--|
| 導入 : 起 (25 分) | | | | | |
| (3 分) | 自己紹介 | ・ファシリテーターの大学名、名前、ニックネームなどの紹介 | ・ファシリテーターの名前を知ってもらい、参加者が活動中に気軽に名前を呼べるようにする。 | ファシリテーターの名札 | ・ファシリテーターの自己紹介を聞く |
| (15 分) | アイスブレیکن グ「頭の体操」 | ・5 人程度の班に分かれ、頭の体操をする。縦横 3 列計 9 この点すべてを通過するように、4 本の直線を一筆書きで引くパズルや、画像の中に隠れた文字や動物を見つけるクイズなどを出題し、班のメンバーと協力して答えを出す。 | ・ファシリテーターと参加者両者の緊張をほぐすとともに、その後の活動に活発に参加できるような脳の柔軟体操をする。 | 机、椅子、プロジェクター、紙、筆記用具 | ・問題に苦戦しながら、班のメンバーと協力して解く。 ・(注意) 違う班の人には答えを教えないよう声掛けをする。 |
| (7 分) | 活動説明と役割設定 | ・本ワークショップの活動内容の説明をする。 ・各班それぞれが理想の教育制度を考える活動を行うことを伝える。 ・理想の教育制度作成はファシリテーターが提示した条件下で行う。 ・各班ごとにリーダー、書記、発表係を 1 名ずつ決める。 | ・参加者が、活動においてどのような動きをすれば良いかを理解してもらおう。 ・予め役割を決めておき、より円滑な話し合いを図る。 | 机、椅子、プロジェクター、紙、筆記用具、条件カード | ・理想の教育制度を考えてもらうに当たって、各班ごとに異なる条件を付けるが、その旨はこの段階では公表しない。 ・各役割は立候補制を採り、決まらない場合や立候補がない場合はじゃんけんで決定する。 |

| | | | | | |
|-----------------------|---|--|--|----------------------------------|--|
| <p>展開：承 (40分)</p> | | | | | |
| <p>(15分)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が考える理想の教育制度作成 | <ul style="list-style-type: none"> 各班に条件カード、記録用紙を配る 各班それぞれが理想の教育制度を考える活動を行う。 理想の教育制度作成はファシリテーターが提示した条件下で行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 作成を通して自分の意見を持つ。 他者の意見を聞く。 教育とは何かを考える。 | <p>机、椅子、プロジェクター、紙、筆記用具、条件カード</p> | <ul style="list-style-type: none"> 班のメンバーと協力してより良い教育制度の作成を行おうとする。 (注意)各班に最低1人のファシリテーターが付き、話し合いの活性化を図る。 |
| <p>10分)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 発表 | <ul style="list-style-type: none"> 各班の発表係が、班で作成した理想の教育制度を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> 他の班の発表を聞いていろいろな考えに触れる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 他の班の発表を聞いて、自分の班の良かった点改善が必要な点を感じる。 |
| <p>(15分)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 感想と予想 | <ul style="list-style-type: none"> 全体に向けて、各班ごとに条件が異なっていたことを公表する。 再び班に分かれ、他の班の発表についての感想をそれぞれ話し合う。 自分の班の条件に当てはまりそうな国を班のメンバーと予想する。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を持ち発表する。 他者の意見を聞く。 この後のレクチャーに繋げる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 各班ごとに条件が異なっていたことを知る。 |

| | | | | | |
|---|--|--|---|----------------------------|--|
| <p>発展 : 転 (15分)</p> <p>(5分)</p> <p>(5分)</p> <p>(5分)</p> | <p>各国の教育制度についての紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ ・フィリピン ・タイ、インドネシア、スーダン、ナイジェリア | <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの国の教育制度を紹介する。 ・小学校修了時には、自らの将来を決定しなければならないドイツの教育制度についての紹介 ・貧困からの脱却のために教育を受けている、あるフィリピン人についての紹介 ・宗教教育を主軸としている国の紹介 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の教育だけが教育ではなく、世界には様々な教育のあり方が存在することを知り理解を深める。 | <p>机、椅子、プロジェクター</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の班の条件や考えた教育制度に似た国を見つける。 ・(注意)レクチャーをするにあたって、参加者のステレオタイプ化を防ぐため、一例であることを強調する。 |
| <p>まとめ : 結 (15分)</p> <p>(12分)</p> <p>(3分)</p> | <p>感想</p> <p>まとめ</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・レクチャーを受け、現在自分が受けている教育と比較して何を感じたかを班ごとに話し合う。 ・班で話し合ったことを全体に向けて発表する。 ・国や人によって教育を受ける目的は異なるが、それをどのように自分の未来につなげていくかが重要であるということを伝える。 また、本ワークショップで実際に行ったように、自分の意見を持ちそれを表明し、また他者の意見を聞くことの大切さを伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を持ち発表する。 ・他者の意見を聞く。 ・今受けている教育がどのような意味を持つかを考える ・今受けている教育が自分の未来にどのような繋がりを持つかを考える。 ・本ワークショップの意義の確認 | <p>机、椅子、プロジェクター、紙、筆記用具</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・教育の目的について自分なりに考察する。 |

5 : 会場のセッティング

参加者分の机と椅子をプロジェクターが見える位置にセッティングする。

6 : 使用する教材

7 : 参考にした資料

8 : その他